



# はなみずき

vol. **31**  
SEP. 2022



ささえるひと

**医療部長 西村和江**

そなえる

**防犯・防災訓練**

連載

**チャプレンの窓**

管理栄養士おすすめ

**季節のレシピ**

## 救世軍医療部長 西村和江



今年度より救世軍の医療部長として就任した西村和江少佐  
看護師から士官へ。救世軍で多くの働きと経験を経て、救世軍が担う  
医療に対して感じていること、そして救世軍に対する強い思いや、  
その起こりについて語っていただきました。      インタビュアー：総務課 小川

小川：本日は大変お忙しい中、お時間をいただきましてありがとうございます。早速ですが質問をさせていただきます。医療部長の働きについて教えてください。また、差し支えなければその内容について具体的に教えていただけますでしょうか？

西村：救世軍の医療部は、ここ「救世軍清瀬病院」と杉並にあります「救世軍ブース記念病院」、老人保健施設の「グレイス」と特別養護老人ホームの「恵みの家」の4施設になります。医療部長の働きとは、普段は施設の運営について一緒に考え、必要な手続きが滞りなく行えるように、本営側からサポートする役員だと思っています。法人格である本営側と各施設の橋渡し役です。各施設から挙がってくる人事や予算などの起案について、会議を通して本営で承認を経て、実際に動くという流れですが、書類上の手続きとか、運営するにあたって困っている事がないとか、常に皆さんと同じ理解に立って本営に情報提供をしたり、逆に本営の情報を施設の皆さんにお伝えしたりしています。大切なことは、現場で働く皆さんが救世軍の事をよりよく理解していただけるように、救世軍の理念などをお伝えすることだと思っています。メッセージでお伝えすることもありますし、実際に救世軍の人はどういう人なのかということも職員の皆さんは見ていと思うので、よりよくお伝えしていくことが役割だと思っています。

小川：救世軍と関わりをもたれたきっかけを教えてください。

西村：私が幼少のころ、クリスチャンだった祖母が、救世軍の小隊(教会)に通っていたので、私も一緒について行くようになったのがきっかけです。

小川：当時の活動や印象についてお聞かせ下さい。

西村：とても居心地が良かったです。様々な年代の方が教会に通っていて、世代を超えて皆さんが楽しそうに過ごしている場所というのが、自分にとって学校の友達とは違う関係性の中で、安心できる場所でした。また、救世軍での音楽活動に参加しながら同世代の友人との交わりも楽しかったですし、救世軍にどっぷりはまっていました(笑)。とても充実していましたね。そういった活動の中で、信仰に触れたり、進路について考えるようになりました。「資格を取って救世軍で働きたい」という思いから看護の道へ進み、看護師として大学病院で3年間経験を積みました。

小川：看護師として働きながら救世軍の活動は大変だったと思います。そのような状況で現職へ移行した経緯をお聞かせ下さい。

西村：学生時代から街頭給食や災害支援のボランティアに加わるようになり、様々な人と関わる中で、「救世軍の中で働きたい」、「人に寄り添える仕事をしたい」と思っていたので、その気持ちを大切に看護の仕事と向き合っていました。しかし、急性期の病棟勤務だったので、患者さんの話を丁寧に聴いて差し上げることが難しい環境でした。できるだけ時間を見つけて受持ちの患者さんと関係を築いたりしてきましたが、末期のガンなどで苦しんでいる患者さんと出会ったりする中で、もっと患者さんに寄り添うことに特化したいという思いが強くなりました。看護師として働き、休日は救世軍の活動にいそむ日々を送りながら、自分自身もっと救世軍の中で何かできる事はないかと考え、「士官(伝道者)になる」ということも、その頃から意識するようになりました。看護師を続けるのか、士官として進むべきか、しばらく考える日々が続きました。やがて自分の中でお祈りの言葉だったり、聖書の言葉を通して、士官というものが現実的に感じられるようになり、士官学校へ入校しました。

小川：士官学校はいかがでしたか？

西村：今まで働きながら自分の時間で救世軍の活動をしていたのですが、士官学校に入ると、それが全てカリキュラムに組み込まれていたため、自由な時間も得ることができ、肉体的にも精神的にも楽になりました。生活自体が全て救世軍の活動に集中できることの安心感、満足感がありました。試験や募金活動など、大変ではありましたが、とても楽しく過ごせました。

小川：士官学校を卒業されてからはどのような働きをされましたか？



西村：2年間の学びの後、関東東北連隊に任命され、高崎市、佐野市、広島市、呉市の各地で、小隊や保育所、児童養護施設の働きに携わりました。この期間に結婚し、2人の子どもを授かりました。東京に戻ってからは、医療部の病院、高齢者施設で合計10年間チャプレンとして働きました。看護師をしていた時も救世軍の病院で働きたいと思っていたので、自分がチャプレンとして病院で働けるということが「やっと戻って来られた」という感じが強かったですし、看護師として働いていた時は患者さんのお話をゆっくり聴くことはできなかったのですが、チャプレンはお話を聴くことが仕事ですから、やりがいがありました。「自分にできる事はなにか」と日々考えながらお仕事をさせていただきました。チャプレンの専門教育を受けたわけではなかったため、本を見たり、研修を受けたりしながら自分なりに模索しながらやってきました。

小川：患者さんとお話する時に心がけていることはありますか？

西村：私はポジティブシンキングのタイプなので、どうしても患者さんの思考をこっちへ誘導したくなってしまうのですが、その人のペースで、その人が語りたい事を語っていただくように心がけています。看護師をしていた時は看護計画があって、目標に向かってケアをしていました。スピリチュアルケアにもゴールがあって、そこに向かって自分にも何か出来るのではないかと考えていました。中にはそれについて書かれている本もあるのですが、ある時「違うな」と感じ、ゴールがないところに一緒に寄り添う、決してゴールを設定しないということを目標にする。そのようなことを意識するようになりました。

小川：目標をもたず、頑張るということはとても難しいように思いますね。

西村：クリスチャンであるが故に、患者さんに対して「信仰告白をしてくれたらいいな」とか、キリスト教でなくても希望や平安をもって、前向きな感情に変わってもらえたらと思うのですが、でもそれがゴールではないと思うのです。患者さんの魂は目に見えない世界に旅立っていくわけで、その先のことは私たちにはわかりません。クリスチャンとしての願いは根底にもちながらも、目に見えることはあくまでも通過点でしかないことを心にとめるようにしていました。お亡くなりになった後、神様がその方の魂をどのように導いてくださるのかは、私たちにはわからないからです。また、チャプレンや医療者の立場で、私たちが良かれと思っていることが、必ずしも患者さんにとって願っていることとは限らないということも、自分に言い聞かせていました。怒りや孤独感で近づくことも難しい患者さんを前に、どのように寄り添うかということに葛藤をしながらも、次第に「今日あなたに逢えて良かった」という気持ちを大切にできるようになりました。本当に身体が辛くて、「死にたい」とおっしゃるような状態だった患者さんが、「あなたと話せて良かった」と言ってくださった時には、肉体的な辛さは変わらないとしても、その瞬間だけでも関わったことが本当に大切なことだと思えましたね。

小川：救世軍清瀬病院に今後望むことなどありますか？

西村：これだけ周りに病院がある病院街の中で、救世軍清瀬病院の働きがあるのは、意味のあることだと思っています。救世軍清瀬病院にしかできないこと、らしさというのは、職員皆さんが作り上げているものだと思いますので大切にしていってほしいと思います。沢山の結果を出すことよりも、今、救世軍清瀬病院でケアしている方、関わっている方たち、一人一人にじっくり寄り添う病院であってほしいと思います。また難しいケースの方たちもいらっしゃるかと思いますが、そういった方々にも真剣に向き合える病院であってほしいと思います。以前に看護師として働いていた時に「救世軍清瀬病院が難しいケースの患者さんを受け入れてくれた」と聞いたことがあって、「救世軍清瀬病院なら受け入れてもらえる」という風に思ってもらえるような病院であってほしいと思いました。患者さんからも、他の病院からも頼ってもらえる存在になれるといいと思います。とはいっても病院側として大変なこともあると思いますので、職員の皆さんと一緒に分かち合っていきたいと思っています。



小川：現場の意見に対してどう対応するのか、というところですね

西村：医療制度が変わっていても、その制度から漏れてしまう方もいらっしゃいますし、病院を運営する為には必要な方策もあるかと思っています。それでも取り逃ししてはいけない、救世軍だからこそ手を差し伸べる部分はもっていないといけないと思います。存続する為の方針だけではなく、「本来救世軍がやろうとしている医療活動とは何か」をブレずにもっていたいと思います。救世軍清瀬病院は結核の療養所から始まりまして、ホスピスの設立もいち早く実現してきました。今のニーズというものに、職員の皆さんには是非、向かってほしいと思います。皆さんは救世軍の施設で働いていても救世軍の信者ではなく、クリスチャンでもない方がほとんどだと思いますが、それでも関心、理解をもって働いて下さっていると思うので、より皆さんが救世軍の施設で働くことに誇りを感じてもらえるようなメッセージを伝えていけたらいいと思っています。

気さくで、とても笑顔が素敵な太陽のような医療部長でした。ありがとうございました。

## にしむら かずえ /

慶應義塾看護短期大学卒業後、慶應義塾大学病院にて3年間勤務。救世軍士官学校(伝道者養成校)で2年間の学びを経て、2005年に救世軍士官(伝道者)となる。群馬、栃木、広島の地で小隊(教会にあたる)及び保育園、児童看護施設の働きに従事。2011年より10年間、東京にある救世軍医療部の病院、老健、特養において、チャプレンとして患者、家族、職員のスピリチュアルケアにあたる。2019年より軍国女性部書記となり、2022年から医療部長を兼務する。



## 防犯・防災訓練

レポート：庶務係 小島未来

「いざという時に備えて」 コードブルーとは、患者さんや来院者などの容体が急変した際の職員に向けた緊急の呼び出し。コードホワイトとは、院内で暴力が発生した際の緊急の呼び出しを意味しています。

当院では毎年、定期的に非常時に備えた訓練を行っています。今回は6月に消防訓練、コードブルー、コードホワイト訓練をそれぞれ行いました。消防訓練は、病棟で火災が発生したと想定し、緊急放送、初期消火、避難誘導を行いました。各部署から応援が駆け付け、それぞれが動きを確認しながらの訓練となりました。清瀬消防署のご指導の下、最後に消火器の使い方の講習を受けました。



コードブルー訓練では、お見舞いに来られた患者さんのご家族が倒れたと想定し、緊急放送を受け、各部署から AED や救急カートを持って現場に駆け付け、処置を行うまでの訓練を行いました。一方、コードホワイト訓練では、病棟に入ろうとする不審者を職員が発見したと想定し、緊急放送を受け、各部署からさすまたを持って現場に駆け付け、不審者への対応と院内全体での動きについて訓練を行いました。

コードブルー訓練では、日本光電工業株式会社様のご指導の下、心肺蘇生と AED の使い方講習、コードホワイト訓練では、東村山警察署のご指導の下、さすまたの取り扱い方を教えていただき職員が実践しました。



今回の訓練を通して、緊急時にどのような行動をとるべきか改めて確認することができました。いざという時に患者さんや来院者、職員の安全を守ることができるよう、今後も定期的に訓練を行い、日頃から院内での体制を整えていきたいと考えています。



# チャプレンの窓

チャプレン：張田直子

病室で、どんなことが行われているのかと心配をされておられるご家族も多いのではないのでしょうか。特に、コロナ禍で面会の叶わない中、病院での療養に任せることしかできないふがいなさを思いつつ、過ごされているご家族もおられることと思います。

スタッフもそのご家族のお気持ちを理解しつつ、患者さんの治療や処置にあたっています。患者さんにとって、ご家族や友人との交わりがどんなに力となり、励みになるかをしみじみと感じているのです。

感染予防の為に消毒や必要以上の手袋やエプロンの装具の着用等々、コロナウイルスが目に見えるなら、蹴とばして、踏みつけてやりたいと思うのです。新型コロナウイルスは、人の心をもむしんでいくのです。



このように書いていくと、チャプレンがそんなことを言わないでくださいと言われてそうです。でも、このような状況の中でも、私は、しばしば人の美しい姿を目にします。

いつも、ニコニコと患者さんに接しておられるスタッフに患者さんが微笑み返す姿。つらい吸引の処置に、「ごめんなさいね、吸引をさせてくださいね。」と声をかける看護師。入浴を嫌がる患者さんと格闘しながらも、やさしく接するスタッフ。そして、だんだんと慣れていく患者さんの姿。体を動かすことを嫌がる患者さんを気持ちよくリハビリに向かわせるスタッフ。それに応える患者さんの姿。お名前をお呼びしただけなのに、手を合わせて感謝を表される患者さんの姿。点滴のチューブをつけながらも、将棋をし、勝利した時の患者さんの笑顔。ここには書ききれない美しい姿を日々、見せていただくのです。



チャプレンの日々の祈りを、聖書から引用させていただきます。

「わたしたちの神、主の喜びが わたしたちの上にありますように  
わたしたちの手の働きを わたしたちのために確かなものとし  
わたしたち手の働きを どうか確かなものにしてください。」

詩編 90 編 17 節

# さつまいものきんぴら

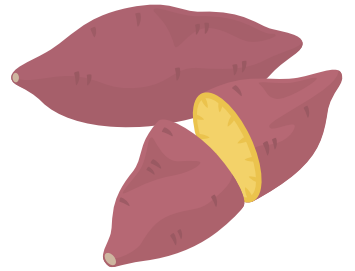
これから旬を迎えるさつまいもは、腸内環境を整える食物繊維、抗酸化作用のあるβカロテン、美肌効果のあるビタミンCが豊富です！ 購入時は、色味が均一で鮮やかなものやひげが伸びていないものを選んで下さい。

## 【材料】4人分

- さつまいも・・・200g(約1/2本)
- サラダ油・・・小さじ1
- ごま油・・・小さじ1
- ☆黒ゴマ・・・適量
- ☆醤油・・・小さじ1
- ☆お酒・・・小さじ1

## 【栄養表示】

- エネルギー：319kcal
- たんぱく質：2.6g
- 食物繊維：5.9g
- 食塩相当量 1.0g



## 【ポイント】

さつまいもの甘みを利用することによって、砂糖不要の一品になっています。また、にんにくやラー油などを加えることによって違った雰囲気を楽しめます。

## 【作り方】

- ① さつまいもはきれいに水洗いして皮つきのまま細切りする。  
(皮に食物繊維が多く含まれています)
- ② 水にさらしてアク抜きをし、水気を切る。
- ③ フライパンにサラダ油を入れて熱し、さつまいもを入れて中火で透き通るまで炒める。
- ④ ☆の調味料を加えて水分が無くなるまで炒め、仕上げに香りづけのゴマ油と黒ゴマを入れて混ぜる。



# INFORMATION

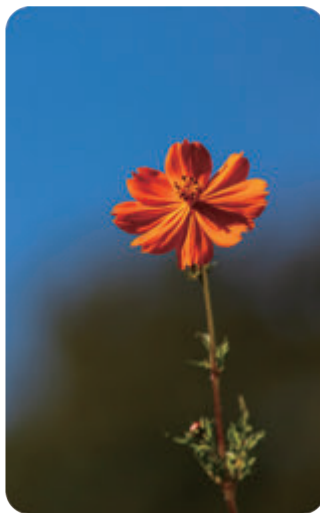
## 面会制限継続中

コロナ禍により、面会制限を継続しています。  
ホスピス緩和ケア病棟は面会可能です。(※条件有)  
詳しくはお問い合わせください。  
引き続き、ご理解ご協力をお願い致します。

## 医療相談室による健康相談

ソーシャルワーカー (MSW) が、医療に伴う様々な心配事や不安について、ご相談をお受けいたします。入院や退院に関する課題、医療費や生活費などの経済的課題、施設や制度の利用や手続きの方法、病気や治療に関する不安、職場や家族関係の悩み、また誰に聞いたらよいかかわからずにお困りのことなど、ご一緒に考えながら、様々な課題についてより良い方向を見いだせるように、お手伝い致します。

# COVER PHOTO



今回の表紙の写真はキバナコスモス/キク科コスモス属。キバナコスモスの花言葉は「野生的な美しさ」「自然美」です。コスモス属は20種以上あり、色も黄色の他にピンク・白・赤など豊富です。国営昭和記念公園(立川市)では9月中旬～10月末にかけて約500万本のコスモスが見ごろを迎えます。秋風を感じながらお出かけしてみたいかがでしょうか。

# 一緒に働く仲間を募集しています！ ～ 資格保持者歓迎 ～



救世軍清瀬病院では、一緒に働く仲間を募集しています！  
当院は世界的なキリスト教団体である救世軍を母体とする病院です。  
職種や部署に関係なく、互いに支え合いながらチームケアを行っている当院で  
看護師・准看護師・介護福祉士など、資格を活かしながら働いてみませんか？  
無資格でも、介護にご興味のある方のご相談を承っています。  
勤務形態や勤務時間についても、ご希望にあわせて柔軟に対応致します。  
まずはお気軽にお電話にてお問合せ下さい。  
TEL：042-491-1411 人事担当宛



## 救世軍清瀬病院

The Salvation Army Kiyose Hospital

当院は宗教に関係なく、どなたでもご利用になれます。

### 「救世軍清瀬病院の理念」

私たちの病院は、キリストの愛の精神を模範とし、  
病む者と家族の痛みを共有し、これを癒し、  
祈りの心をもってこれを支えることを使命とします。

医療療養型病床74床/介護療養型病床43床/緩和ケア病床25床



## 救世軍について

英国に本部を置き、現在、世界133の国と地域で活動する国際的なキリスト教(プロテスタント)の教会です。日本での活動は1895(明治28)年に始まり、現在は43の小隊(教会にあたる)、2つの病院(ホスピス併設)、保育所、児童養護施設、婦人保護施設、特別養護老人ホーム、老人保健施設、アルコール依存症者支援施設などを通して働きを進めています。

TEL：042-491-1411 (代)

西武池袋線「清瀬」駅南口バス乗り場2番より「東京病院北」下車徒歩1分  
西武新宿線「久米川」駅より清瀬駅南口行バス「東京病院北」下車徒歩1分  
西武新宿線「花小金井」駅より清瀬駅南口行バス「東京病院北」下車徒歩1分